

# ホストタウン交流【ネパール】

## 1. トレーニング合宿の実施

2015年4月ネパールで震災が起き、プールが壊れるなど練習に支障が出たことにより、ネパールパラリンピック水泳連盟会長からスポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局（外務省）に支援要請があった。それを受け神戸市では、平成28年度から平成31年度（令和元年度）まで毎年ネパールのパラ水泳選手チームの事前合宿をしあわせの村（神戸市北区）で受入れ、交流事業を行っている。（写真①）

ネパールパラ水泳選手団の指導には酒井正人（さかい まさと、日本身体障がい者水泳連盟競技技術委員）氏にご協力いただいている。

## 2. 美賀多台小学校との交流

平成30年度および31年度の合宿では、神戸市立美賀多台小学校（神戸市西区）にネパールパラ選手団が訪問し交流を行った。子どもたちはネパールについて調べ、パワーポイントを使って資料を作成し選手団の前で発表。他にも選手団は子供たちと一緒に給食を食べたり、じゃんけん列車等で交流した。（写真②・③）

## 3. 地元の水泳クラブとの交流を実施

令和2年2月1日には、酒井氏がコーチを務めている地元の水泳クラブ「フレンズクラブ」に選手団が訪問した。選手団はフレンズクラブの子どもたちと一緒に水泳の練習をした後、子どもたちから歌や記念品のプレゼントを贈られた（写真④）



①練習風景



②給食をとりながらの交流



③美賀多台小での交流の様子



④フレンズクラブとの交流の様子

## ホストタウン交流【ネパール】

### 3. 美賀多台小学校からの応援メッセージの送付

令和2年10月29日に、平成30・31年度にネパールパラ水泳チームと交流を行った神戸市立美賀多台小学校（神戸市西区）が、東京2020パラリンピック出場を目指すネパールパラ水泳チームに向けて動画でエールを送った。動画の中で児童たちは「しあわせ運べるように」を英語で合唱した。「しあわせ運べるように」は、阪神・淡路大震災後神戸で、各小学校をはじめ、追悼式典・ルミナリエ・成人式等で25年間歌い継がれている。

また子供たちがそれぞれの好きな漢字を、ネパール語で意味を横断幕にした様子も動画に収められている。（写真⑤・⑥）

### 4. トレーニング動画の作成・送付

新型コロナウイルス感染症の影響で来神しての練習ができない中で自分たちでもトレーニングができるよう、毎年ネパールが神戸でトレーニング合宿を実施する際にコーチを務めている酒井正人（さかい まさと、日本身体障がい者水泳連盟競技技術委員）氏のご協力のもと、トレーニング動画を作成し、ネパールパラリンピック水泳連盟にお送りした。（写真⑦・⑧）

▼動画はこちらから見ることができます。

<https://www.facebook.com/kobe.nepal.paraswimming>



⑤ネパールにエールを送る児童



⑥しあわせ運べるようにを英語で合唱



⑦トレーニング動画撮影の様子①



⑦トレーニング動画撮影の様子②